

電子決済「ペイジー」利用件数 7,000万件突破！ ～国庫金分野での取扱いが拡大中～

電子決済サービス「Pay-easy（ペイジー）収納サービス^{※1}」平成29年度の利用件数は7,132万件、金額は17.5兆円を記録し、おかげさまでサービス開始以来16年連続での増加となりました。

特に国庫金分野では、関税や国税の利用金額・件数が右肩あがりで推移したことにより、利用金額・件数共に前年度を上回りました。また、地方公金分野においては、平成29年度中に 長野県、伊勢崎市、所沢市、品川区、宮崎市 が新たにペイジー収納サービスを開始したことや、岐阜県での自動車税等への対応に加え、多くの都道府県による自動車OSS^{※2}の取扱開始などの効果もあり、利用金額・件数共に前年度を上回りました。

【平成29年度「ペイジー収納サービス」の利用状況】 <図1、図2参照>

- **総利用金額 17.5兆円**（前年度比 約110%）
- **総利用件数 7,132万件**（前年度比 約103%）

ペイジー収納サービスの年間利用金額・利用件数は前年度を上回り、高水準の伸びが続いています。

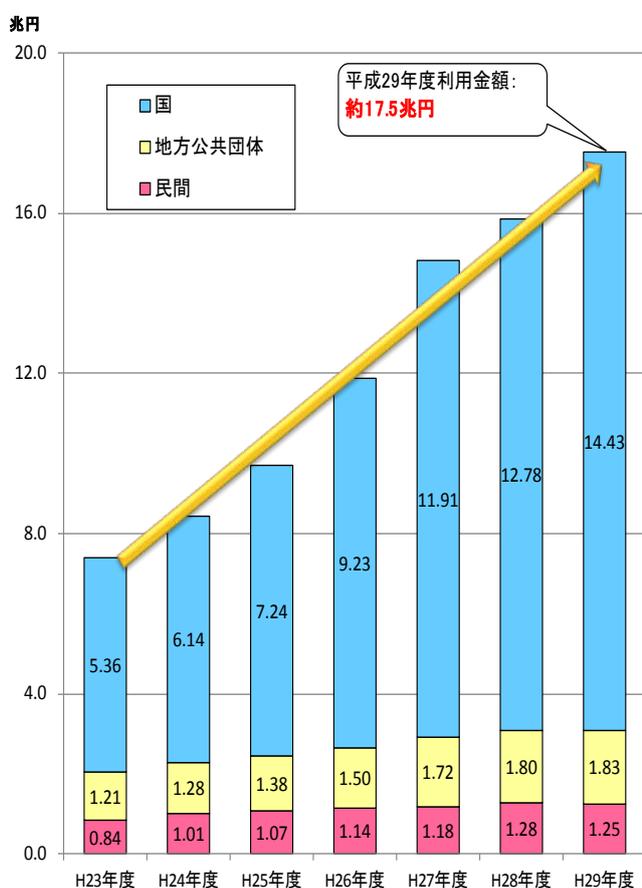


図1. 年度別利用金額推移

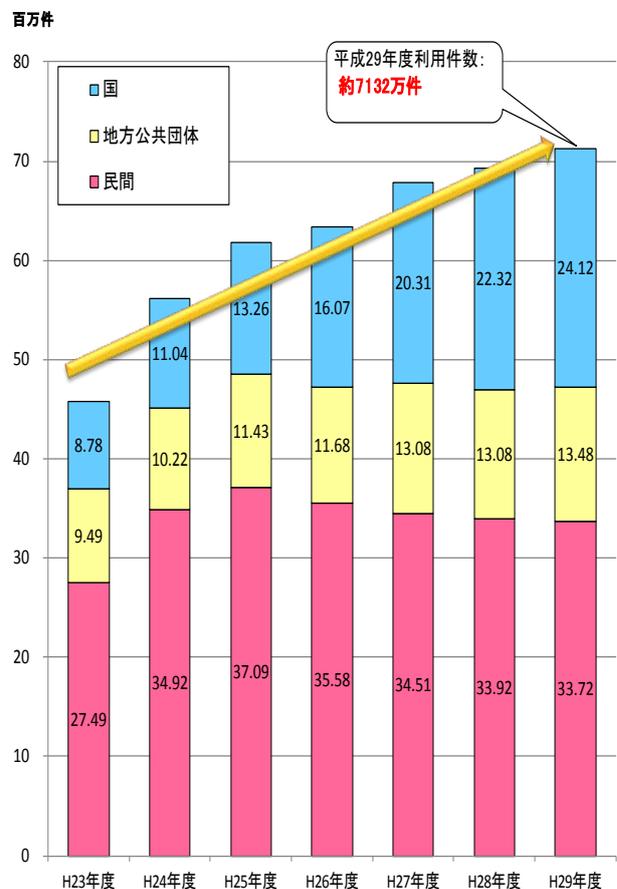


図2. 年度別利用件数推移

表. 収納機関分野別利用状況

平成 29 年度	利用金額	前年度比	利用件数	前年度比
国庫金分野	14.43 兆円	113%	24.12 百万件	108%
地方公金分野	1.83 兆円	102%	13.48 百万件	103%
民間分野	1.25 兆円	97%	33.72 百万件	99%

【関税や自動車 OSS での取扱いが拡大】

平成 29 年度の国庫金分野におけるペイジー納税件数は、前年度比約 **108%** となりました。特に関税での取扱いが増加しており、従来の「NACCS 専用口座」による納税方法が平成 29 年 3 月に廃止となり、全てペイジーでの納税に移行したことから、利用拡大につながりました。また、自動車 OSS では、対応団体が急激に増加しており、平成 30 年 4 月 2 日時点で 31 団体^{*3}での取扱いが可能となっています。今後も取扱団体が増加する見込みです。

【春の納税シーズン ペイジー利用が増加】

平成 29 年春の納税シーズンに合わせた、“利用者向けキャンペーン”や“納税通知書用封筒への広告掲載”、“自動車税をターゲットとした電車内広告等”といった広報施策の展開もあり、地方公金分野における ATM・インターネットバンキング、モバイルバンキングの 4～6 月の利用件数、金額はともに前年度比約 **109%** となり、利用増加に効果を上げることができました。

【金融機関チャネルの拡大や民間企業の動向】

平成 29 年度は、青森銀行の ATM がペイジーに対応し、より一層利用者の身近な支払いとして浸透していくものと考えています。また、民間企業においては、紙の請求書の減少に伴い窓口での取扱いが減少する一方で、特に芸能人のファンクラブ会費やコンサートチケット料金の分野で利用が増加しており、今までペイジーを利用する機会が少なかった若年層にも利用が広がっています。

【関東全域の都県でペイジー納付が可能に】

平成 30 年 4 月からは、**千葉県**、**さいたま市** と人口が多い自治体が新たにペイジー収納サービスを開始しており、多くの利用者の利便性向上に寄与すると考えています。また、千葉県が開始したことにより関東 1 都 6 県でペイジーでの納付が可能となり、今後も利用可能なエリアが更に広がっていく予定です。

- ※1 ペイジー収納サービスとは、税金や公共料金、各種料金などを、パソコンやスマートフォン、ATM 等を利用して、「いつでも、どこでも、カンタン、安心」に支払うことができるサービスです。
- ※2 自動車 OSS とは、自動車保有関係手続のワンストップサービスの略。自動車保有するために必要な手続きと税・手数料の納付をインターネット上で一括して行うことを可能とするサービスです。
- ※3 出典：「[自動車保有関係手続のワンストップサービス](#)」のサイトより

推進協議会および運営機構は、皆様に安心・安全・便利な決済手段を提供するため、引き続きペイジーのサービス向上、益々の普及・利用促進に努めてまいります。

<お知らせ>平成 30 年度春のキャンペーン実施中！：<http://www.pay-easy-campaign.com/>



連絡先：日本マルチペイメントネットワーク推進協議会事務局
「Pay-easy (ペイジー)」ホームページ URL：<http://www.pay-easy.jp>